

2018年5月15日

各位

会社名 本州化学工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 福山 裕二  
(コード番号4115 東証第2部)  
問合せ先 取締役人事総務部長 池田 宣良  
(TEL 03-3272-1481)

## 当社取締役会の実効性評価結果について

当社は、取締役会の意思決定機能、経営監督機能の実効性を確認し改善を図るため、毎年、取締役会全体の実効性について評価を行っております。

2017年度の評価結果の概要について下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 評価の方法

次の項目について全取締役及び監査役（計13名）にアンケートを実施し、その結果をもとに、取締役会において、現状における取締役会の実効性、今後の課題等について議論しました。

なお、アンケートの実施にあたっては、2017年度より外部機関の協力を得ることとし、回答方法は外部機関に直接回答することで匿名性を確保するとともに、外部機関によるアンケートの分析結果を議論の参考としました。

<主なアンケート項目>

- ① 取締役会の規模・構成
- ② 取締役会の運営（開催頻度、時間、議題、説明方法、議論の活発度等）
- ③ 社外役員に対する支援体制（情報提供、サポート体制等）
- ④ 役員のトレーニング
- ⑤ 株主・投資家との対話

#### 2. 評価結果の総括

2017年度の評価においては、2016年度同様、取締役会の規模・構成、議題、審議時間、独立社外役員を含めた活発な議論などの観点から、取締役会の意思決定機能、経営監督機能は相応に発揮されており、実効性は十分に確保されていると評価しました。

#### 3. 今後の課題について

2016年度の実効性評価で課題とされた「中長期的な戦略議論の充実」については、取締役会の議案の調整、社外役員への事前説明や情報共有の強化などを通じ、改善が見られたと評価しております。しかしながら、戦略上重要な投資案件なども含め、重要な経営課題については、更に十分な議論を重ねるべきとの意見も出されました。

また、2017年度は、新たに「株主・投資家へのより積極的な情報発信、対話の充実」が課題として挙げられるとともに、その意見を適時適切に取締役会にフィードバックすることが重要との意見が出されました。

当社は、上記評価結果を踏まえ、取締役会の実効性を更に高めるべく、引続き必要な対応策の検討と実行を進めてまいります。

以上